

私たちは、良質な医療と療養環境を提供致します。

# OASIS

2020年 新年号

愛友会 上尾中央第二病院 季刊誌 ●URL <https://www.aach2.jp/> ●TEL: 048-781-1101

オアシス

2020年の挨拶  
新年明けまして  
おめでとうございます

今年も当院がこの地に開院して31年目を迎えます。これまで支えてくださった皆様には誠に感謝申し上げます。今後も当院の理念にあるように、私たちは良質な安全な医療と療養環境を提供し、地域の皆様から愛される病院として存在していきたいと思っております。また、職員一同、慢性期医療を担う病院として初心を忘れず日々務めていく所存でございます。最後になりますが本年が皆様にとって幸せ多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

院長 藤澤和彦

## 「私の看護を支えているもの」

皆 さまこんにちは。昨年3月に転勤してまいりました鎌田博司と申します。私は、これまで大学病院での勤務、ネパールの無医村診療所への派遣、国際緊急援助隊災害医療派遣、刑事施設でのカウンセリング業務などを経て、平成21年に上尾中央医科グループに入職いたしました。現在は、回復期病棟で看護科長を務めております。

これまで、様々な経験をする機会を得てきましたが、どれも貴重で自分の看護観の形成に大きく影響しました。大学病院や前任地の上尾中央総合病院では、急性期医療の看護師として、急な入院を余儀なくされた患者さまやご家族の不安なお気持ちをサポートしつつ、一刻一刻と変化する患者さまの状態を的確に把握し対処することの重要性を学びました。また、ネパールの無医村診療所への派遣では、電気や水道などのライフラインの整備もない地域で、医療設備も皆無に近い環境で自分の五感だけを使って村民の様子を把握し、自身の目と手と言葉だけでケアを行う難しさを痛感しました。国際緊急援助

隊の活動は災害地域への派遣で過酷な環境での看護実践ですが、限られた資源と人材で最大限にチームの力が発揮できるようなチームビルディングが必要で、この活動を通して真のチーム医療の重要性が理解できたように思います。

今、私の看護を支えている考えは、「看護できない患者はいない」ということです。これは、カウンセラーになる前、精神療法を学んでいた時に精神科医師に言われた言葉でした。「医師が治せる患者には限界がある。しかし、看護できない患者はいない」という言葉を聞いた時、看護のやり甲斐を改めて感じました。現在勤務する回復期病棟では、病気や怪我が元で生活に不自由を生じた患者さまが、在宅や社会への復帰を目指してリハビリに励んでおられます。これからも、お一人おひとりに、自分ができる看護は何かを考えて向き合っていきたいと思っております。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



## 1階病棟 療養病棟

1階病棟は療養病棟で、病状が安定した患者さんが入院されています。私たちはコミュニケーションを大切にしております、患者さんと御家族様の気持ちに寄り添った看護の実践を心掛けております。患者さんを中心とし、医師やリハビリスタッフ、看護師などの多職種が話し合い、患者様に合ったケアを提供させていただいております。

また、1階病棟の廊下は他フロアに行かれる方の通り道でもあります。スタッフ一同、元気な挨拶と話しかけやすい雰囲気作りを心掛けておりますので、何かありましたら遠慮なくお声掛け下さい。さらに、スタッフステーション受付横には季節に合わせた飾り付けをしており、ご好評いただいております。通りがかった際には是非ご覧になってみてください。



## レクリエーション紹介 遺族会報告



## 5階病棟 ホスピス(緩和ケア)病棟

上尾中央第二病院では、毎年1回遺族会を催しております。今年も10月26日、東武パンケットホール上尾で開催されました。遺族会とは、ご遺族と亡くなられた患者さんとの大切な思い出を振り返りながら、患者さんを偲ぶ会です。

患者さんとの沢山の思い出を、ご遺族から聞かせていただき、患者さんのお人柄を改めて知ることもありました。ご遺族との会話も弾み、心穏やかになる時間を過ごせました。また、ギター、ラ・アモローソの皆さんの心温まるクラシックギターの演奏も、癒しの時間を過ごすひと時となりました。



## 防災訓練



近年、各地では自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしております。当院では安心して療養いただくため、火災・地震等が発生したことを想定した避難訓練を行っております。通報、消火、搬送、救護等様々な訓練を行い災害に備えております。

防災対策委員会



令和元年 第三回

### 市民公開講座開催

11月6日(水)2019年度第2回市民公開講座を開催させて頂きました。さて、第2回は、当院職員の緩和ケア認定看護師と薬剤師による講演とさせて頂きました。当日は秋晴れとなり気候もよく16名の方々の参加となりました。

寺側看護師からは、「リラクゼーションマッサージ」について講演させて頂きました。「指圧」と「マッサージ」それぞれの意義や定義、基本の手技を学んだのち、参加者にペアになってもらいお互いに施術して頂きました。施術のコツで、「相手の呼吸に合わせる」「相手の痛いところに手を当てる」など“共感”や“信頼関係”がとても効果に影響すると学んだこともあり、参加者どうし和気あいあいとコミュニケーションを取っていたのがとても印象的でした。

松本薬剤師からは、「お薬と上手に付き合うために」について講演させて頂きました。今後も更に急増する高齢者層では複数の持病を持つ人が増え、現在でも75歳以上では4人に1人が7つ以上の薬を処方されています。高齢になると人それぞれ代謝や排泄能力が異なるので、人によっては6つ以上の薬の服用は「眠気」「食欲低下」「物忘れ」などの副作用を

起すそうです。例えば「眠気」が原因で転倒すれば思わぬところで健康寿命を大きく縮めてしまいます。心配な場合は医師や薬剤師への相談がとても重要です。講演後は、例年通り「お茶会」と称し参加者と講師や当院職員との交流を通して様々な質問を受けました。また参加者同士の会話も弾んだようでとても活気のある雰囲気でした。お茶会中は、無料で「血管年齢検査」を実施、ご自身の検査結果に一喜一憂している場面も見られました。

この市民公開講座は、当院スタッフが上尾市民の健康に貢献する意識が高まると共に、日々の仕事に対して勇気づけられる貴重な機会にもなっております。

次回は5月頃に企画させていただきますので皆さまの参加をお待ちしております。

令和元年11月6日 地域連携委員会 田口 栄治



### 居宅介護支援 ささえ

「ささえ」は介護保険がスタートした平成12年に開設された事業所で、まもなく20年を迎えます。

介護を必要とされている方が、介護保険サービスを受けられるように調整するのが、私たちケアマネジャーの仕事です。ご本人、ご家族からお話を伺い、抱えている問題や心身の状況・環境等を踏まえ支援させていただきます。

現在、看護師2名(女性)と介護福祉士1名(男性)の3名体制で行っております。

どうぞお気軽にご相談下さい。

TEL 048-726-8350 (直通)

居宅介護支援事業所 ささえ



### 大谷地域 包括支援センター 048-780-6363



地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた地域で

安心してその人らしい生活が継続できるようにサポートをする地域の相談窓口です。

市内には10か所のセンターが設置されていますが、私たち大谷地域包括支援センターは大谷圏域(地頭方・荻丁目・今泉・向山・大谷本郷・堤崎・中新井・戸崎・川・西宮下)を担当しています。皆様と一緒に考え、少しでもお役に立てるよう頑張りますので、どうぞお気軽にご相談ください。



上尾中央第二病院

検索

### 上尾市人間ドックのお知らせ



上尾市特定健診は、昨年10月末日に終了しましたが、未受診の方は、上尾市人間ドックを申し込みますと令和2年2月末日まで受診券が有効となります。ご希望の方は、病院にて予約終了後、上尾市役所で人間ドック受診の手続きをお願いいたします。

人間ドックと合わせて各種オプション検査可能です。詳しくはお問い合わせ下さい。

上尾市人間ドック	39,600円	市補助額	20,000円
		自己負担額	19,600円

### 上尾市肺炎球菌接種はお済みですか?

対象: 令和2年3月31日までに、65才、70才になられる方、及び75才以上の方  
期間: 令和2年3月30日まで  
負担額: 5,000円  
\*過去に接種した方は全額自己負担  
実施日: 祝日を除く月・水・木・金曜日(予約制)

お問い合わせ 受付時間 月～土曜日 9時～17時 (祝日を除く) TEL: 048-781-1902



### 職員旅行

11月に水上温泉への職員旅行を上尾中央総合病院と合同で実施しました。お互いの職員が交流する場となり日々の連携をスムーズにするきっかけとなっております。



### 編集後記

令和2年を迎え今年はおリンピックイヤーです。皆さまは日々運動をされていますか? 私は4年前にやめたスポーツクラブを再開してこの間に進化した生活習慣病を今年は何とか改善します。心機一転、皆さまも何かにチャレンジしてはいかがでしょうか。

地域連携課 田口



表紙撮影者 放射線科 関根 豊

### 患者さまの声 Q&A

Q 今年もインフルエンザ流行の中、面会の方々の病棟に入る時に手消毒、マスクが全く行われていません。患者様に感染したら大変なことになりかねません。上尾中央総合病院では受付で手消毒、マスクは厳守です。

A ご指摘ありがとうございます。当院でもマスク・手指消毒をしていただけるよう正面入口に準備しておりますが、インフルエンザ流行期に入った段階でマスク・手指消毒を厳守していただくこととしております。流行期以外の時期でもご協力頂けると幸いです。また、咳のある場合等はマスク・手指消毒は厳守をお願いいたします。

Q 院内清掃が不十分との意見が複数あり。(5月～10月)

A この度は、院内清掃が行き届いておらず申し訳ありませんでした。清掃業者と清掃状況の確認、話し合いをしました。今後は清潔な環境の整備に努めてまいります。何かございましたら、お声掛け下さい。

当院に対するご意見、ご要望がございましたら、相談支援窓口(1階)又はご意見箱(各病棟談話室)までお願いいたします。頂いたご意見、ご要望を真摯に受け止め医療サービス向上に努めてまいります。